

# 健康ぷらざ

No.335

企画:日本医師会

## リウマチ性多発筋痛症って どんな病気?

60歳を過ぎてから、両側の首すじや肩、上腕(肩からひじまで)、腰、太ももなどが、こわばったり、

うずくように痛んだりしている方はいらっしゃいませんか?

痛みのため寝返りも打てない、なんとなく気が滅入る。

そんな症状があったら

“リウマチ性多発筋痛症”かもしれません。

“リウマチ性多発筋痛症”はまだ原因不明の、

あまり知られていない病気です。

そこで症状から推測されるさまざまな病気を検討して、

当てはまらない病気を除いていく

「除外診断」という手順でしばしば診断されます。

社会の高齢化に伴い、これから増えるとともに

原因がはつきりしてくる病気と考えられています。

現在は有効な治療法がありますので、

原因がわからず気になる症状が続くときは、

かかりつけの医師に相談しましょう。

### リウマチ性多発筋痛症の場合に 自分で気づく主な症状

- 1 朝、首すじや肩、肩甲骨のあたり、腰(いずれも両側)がこわばり、1時間以上続く
- 2 両側の上腕(肩からひじまで)が圧迫されるように痛い
- 3 微熱があり、全身がだるい
- 4 気分が滅入り、体重が減った

※その他の条件:60歳以上



指導:東京慈恵会医科大学リウマチ・膠原病内科教授 山田 昭夫

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。